

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 岩田 松雄

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス&アドミニストレーション統括オフィサー (氏名) 北川 徹

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	72,527	0.3	5,267	25.5	5,543	25.8	2,808	21.7
21年3月期第3四半期	72,715		4,198		4,407		2,307	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	1,968.41	1,958.27
21年3月期第3四半期	1,619.52	1,606.63

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	45,126	32,356	71.7	22,675.18
21年3月期	43,783	30,020	68.6	21,047.09

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 32,356百万円 21年3月期 30,020百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		300.00	300.00
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				400.00	400.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,600	2.1	5,450	1.1	5,600	3.1	2,700	9.6	1,892.13

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	1,426,965株	21年3月期	1,426,342株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	株	21年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	1,426,661株	21年3月期第3四半期	1,424,626株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成21年5月12日に公表いたしました、平成22年3月期の配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「平成22年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による一連の景気対策の効果などから一部では業況感の回復が見られるものの、企業収益や雇用環境は依然として厳しい状況で、先行きに対する不安が払拭できないことにより個人消費は低調に推移いたしました。

当社が属するスペシャルティコーヒー市場におきましては、消費者の生活防衛意識・内食傾向が高まり、引き続き厳しい経営環境が続いております。このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当第3四半期累計期間に販売した主な商品として、ピバレッジでは日本限定の「クレーン ブリュレ マキアート」や「キャラメル エクレール ラテ」が大変ご好評いただきました。

フードでは、イタリアの伝統的なパンを使用した、「フィローネ ホリデーチキン」や「フィローネ きのことモッツァレラ」等がご好評いただきました。

店舗展開におきましては、立地ポートフォリオの最適化や空間デザインの質に焦点をあて、コーヒーの専門性をより際立たせた「新宿マルイ本館2階店」や「たまプラーザテラス店」、新たなデスティネーションストアの「恵比寿ガーデンプレイス店」を出店いたしました。

29店舗の新規出店(うちライセンス5店舗)、8店舗の退店を行った結果、当第3四半期累計期間末における店舗数は875店舗(うちライセンス33店舗)となりました。

以上の活動の結果、売上高は72,527百万円(前年同期比0.3%減)となりました。取引件数の伸び悩みが続いたことにより、既存店売上高が対前年同期比93.2%にとどまりました。

月別の既存店対前年同期比は以下の通りです。

	月	第1四半期	第2四半期	10月	11月	12月	第3四半期	第3四半期累計
既存店 対前年同月比	売上高	94.5%	92.6%	91.3%	90.6%	94.9%	92.5%	93.2%
	取引件数	92.1%	92.3%	92.2%	91.2%	94.4%	92.8%	92.4%
	客単価	102.7%	100.3%	99.0%	99.3%	100.5%	99.7%	101.0%

売上総利益は52,827百万円(同3.3%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,670百万円の増益となり、売上総利益率は72.8%(同2.5ポイント増)となりました。これは昨年来取り組んでまいりました原材料価格の低減施策及び品揃えの最適化等の、収益改善効果が大きく表れたことによるものです。

営業利益は5,267百万円(同25.5%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,069百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加によるものです。

経常利益は5,543百万円(同25.8%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,136百万円の増益、四半期純利益は2,808百万円(同21.7%増)と、前年同四半期累計期間に比べて501百万円の増益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1,342百万円増加して45,126百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて2,771百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,756百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて1,428百万円減少いたしました。これは主に固定資産の減価償却によるものです。

流動負債、固定負債は、前事業年度末に比べて993百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の返済によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて1,956百万円増加し、5,912百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、6,429百万円(前年同期差4,236百万円増)となりました。これは主に税引前四半期純利益や賞与引当金の増加によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、2,121百万円(同2,987百万円減)となりました。これは主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、2,352百万円(同1,927百万円増)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出の増加によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月15日発表の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法としております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,912,677	4,156,164
売掛金	3,705,986	3,321,195
商品及び製品	885,706	742,277
原材料及び貯蔵品	1,195,930	1,124,591
その他	3,293,962	2,874,547
貸倒引当金	29,664	25,340
流動資産合計	14,964,598	12,193,435
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,553,061	9,159,590
その他(純額)	3,179,735	3,882,979
有形固定資産合計	11,732,796	13,042,570
無形固定資産	1,328,188	1,443,142
投資その他の資産		
差入保証金	16,264,670	16,218,782
その他	932,717	983,393
貸倒引当金	96,620	97,532
投資その他の資産合計	17,100,767	17,104,643
固定資産合計	30,161,752	31,590,356
資産合計	45,126,350	43,783,792
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,367,359	2,415,355
短期借入金	200,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	195,000	239,000
未払法人税等	1,232,568	1,081,478
賞与引当金	838,385	-
その他	7,375,825	7,408,178
流動負債合計	12,209,138	13,144,013
固定負債		
長期借入金	327,500	425,000
役員退職慰労引当金	18,604	17,291
その他	214,413	177,143
固定負債合計	560,517	619,434
負債合計	12,769,656	13,763,448

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,376,576	8,369,659
資本剰余金	10,951,636	10,944,719
利益剰余金	13,329,410	10,949,054
株主資本合計	32,657,623	30,263,432
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	300,929	243,088
評価・換算差額等合計	300,929	243,088
純資産合計	32,356,694	30,020,344
負債純資産合計	45,126,350	43,783,792

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	72,715,542	72,527,426
売上原価	21,558,607	19,700,379
売上総利益	51,156,934	52,827,047
販売費及び一般管理費	46,958,785	47,559,127
営業利益	4,198,149	5,267,920
営業外収益		
受取利息	5,855	2,220
受取補償金	-	139,631
為替差益	54,419	7,825
プリペイドカード失効益	94,792	92,976
その他	82,574	52,283
営業外収益合計	237,641	294,938
営業外費用		
支払利息	24,295	13,862
その他	4,386	5,703
営業外費用合計	28,681	19,565
経常利益	4,407,109	5,543,292
特別利益		
店舗閉鎖損失戻入益	-	27,495
特別利益合計	-	27,495
特別損失		
減損損失	52,688	376,009
固定資産除却損	44,474	41,092
その他	6,960	56,347
特別損失合計	104,123	473,450
税引前四半期純利益	4,302,985	5,097,338
法人税等	1,995,773	2,289,079
四半期純利益	2,307,211	2,808,259

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,302,985	5,097,338
減価償却費	2,683,545	2,698,237
減損損失	52,688	376,009
引当金の増減額(は減少)	197,909	843,109
受取利息及び受取配当金	5,855	2,220
支払利息	24,295	13,862
為替差損益(は益)	14	599
有形固定資産除却損	46,033	47,007
無形固定資産除却損	-	2,273
店舗閉鎖損失戻入益	-	27,495
有形及び無形固定資産売却損益(は益)	-	13,010
移転費用	-	43,618
売上債権の増減額(は増加)	553,760	384,790
たな卸資産の増減額(は増加)	301,096	214,768
仕入債務の増減額(は減少)	14,649	47,996
その他	832,458	148,840
小計	5,233,103	8,579,416
利息及び配当金の受取額	5,855	2,220
利息の支払額	25,364	13,390
法人税等の支払額	3,020,410	2,138,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,193,183	6,429,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,892,882	2,123,685
無形固定資産の取得による支出	452,241	271,476
差入保証金の差入による支出	1,040,457	304,747
差入保証金の回収による収入	235,345	321,883
定期預金の払戻による収入	-	200,000
その他	42,024	57,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,108,210	2,121,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000,000	-
短期借入金の返済による支出	-	1,800,000
長期借入金の返済による支出	2,025,500	141,500
株式の発行による収入	24,615	13,834
配当金の支払額	423,762	424,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	424,647	2,352,366
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,339,675	1,956,513
現金及び現金同等物の期首残高	5,049,862	3,956,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,710,187	5,912,677

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第3四半期累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日		
	売上高(千円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	53,307,039	73.5	100.4
フード	11,366,280	15.7	95.6
コーヒー豆	2,591,056	3.6	97.0
コーヒー器具等	3,794,878	5.2	105.6
店舗販売計	71,059,255	98.0	99.7
その他	1,468,171	2.0	101.1
合計	72,527,426	100.0	99.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。